

令和7年度 第1回 白井市産業振興ネットワーク会議 会議録

- 1 開催日時 令和7年6月3日（火）午後2時～3時50分
- 2 開催場所 白井市役所本庁舎2階 災害対策室2、3
- 3 出席者 板橋委員、清水委員、齊藤委員、山崎委員、押田委員、小水内委員、
染谷委員、宇津野委員、北村委員、今委員、桐山委員、中村委員
- 4 欠席者 小川委員長、阿部副委員長、駒村委員
- 5 事務局 今井市民環境経済部長、岩立産業振興課長、豊田農政係長
商工振興係 保科主査、牧野、齊藤
㈱NTTデータ経営研究所 石丸様、瀬田川様

6 傍聴者 3名

7 議 題

- (1) 白井市第2次産業振興ビジョン（仮称）素案について
- (2) 今後の策定スケジュールについて
- (3) その他

8 議事内容

○臨時議長（委員）

それでは、これから議事に入りたいと思います。

皆さんよろしくお願いいたします。

議事に入る前に、現在傍聴の方はいらっしゃっていないのですが、順次、来られる可能性もあるので、入り口で説明等を行って順守していただきたいと思います。

それでは、第1号議案としまして、白井市第2次産業ビジョン（仮称）素案について審議を始めたいと思います。

資料が膨大なページ数になっておりますので、まず初めに、冒頭から農業分野までの説明を事務局からお願いしたいと思います。

○事務局

資料1 白井市第2次産業振興ビジョン（仮称）素案をご覧ください。

前回会議で御審議頂きました「基本方針の素案作成に向けた方向性」を元に白井市役所内の関係各課のヒアリングを実施しました。それらを踏まえまして、白井市第2次産業振興ビジョン（仮称）素案を作成し委員の皆様には送付させていただきました。

本日は、委員の皆様が日々感じられている実情を踏まえ将来に向けた方向性が本素案の方向性とあったものになっているか、具体的に言うと各ビジョンと基本方針についてご意見を頂戴できればと考えております。また観光業については、市の分野横断的な連携という新たな形で今回作成をしました。

より効果的と考えられる案など、ご意見をいただければ幸いです。

なお、今回の審議においても前回同様により現実に則した意見を頂くため、各分野担当委員の皆様には積極的にご意見などを頂ければと思います。

審議については、分野ごとに説明します。その後に審議をお願いいたします。

まず、冒頭第1章から第3章農業ビジョンまでご説明させていただきます。

それでは、2ページの目次をご覧ください。第1章では、ビジョン策定の目的、位置付け、期間等を、第2章では、全体ビジョンを、第3章以降で分野ごとのビジョンをお示します。そして、最終第6章にて推進に関する記載をしております。

次期ビジョンにおいては前回会議まででお示したとおり分野ごとに現状、PEST分析、課題、ビジョンと基本方針をまとめた構成にします。

3ページをご覧ください。第1章こちらはビジョンの策定目的を記載するページとなっております。

今回策定するにあたり、その狙いや方針について記載している他、SDGsを踏まえ持続可能な経済活動についても意識していくこととしています。

4ページをご覧ください。こちらは、白井市の計画体系における産業振興ビジョンの位置づけです。現行ビジョンからの変更点として、他の基幹計画との部分において整合性を取りつつ、連携することが図から解るよう、文言でも整合・連携と加えています。

5ページをご覧ください。第2次産業振興ビジョンの計画期間についてです。

基本的には第6次総合計画に合わせたものとしますが、総合計画の見直しや、白井市を取り巻く社会情勢や産業動向・経済環境の変化を踏まえて、産業振興ビジョンも適宜見直しを行うこととし、時代の変化に対応できることとします。

次のページから第2章全体ビジョンの説明です。

6ページをご覧ください。こちらは産業振興ビジョンの全体構成です。こちらについては現行ビジョンと変わりありません。

7ページから14ページについてはビジョン策定にあたり統計データ等を記載していますが今後、最新版に変更していく予定です。

15ページについては全体ビジョンを記載させていただきます。こちらについては、現在仮の記載となっており市最上位計画である総合計画に合わせる形で修正させていただき次第、改めてお示しします。

16ページをご覧ください。ここで分野横断的な連携について改めて説明します。個別の分野における取組を推進するだけに留まらず、分野間の共創を促進することで相乗効果を創出しながらビジョンを実現することを目指します。

また、近隣自治体や市内外の民間事業者、研究・教育機関と協力体制を構築することで、白井市単独では実施困難な広域かつ高度な取組を推進することとします。

17ページに連携の取り組みとして、①民間事業者や研究機関との連携。②単純な観光で

はなく分野間の連携から生まれる体験などをイメージとする複合的な観光事業や、6次産業化へ向けての挑戦について記載させていただきます。

そして、この分野横断的な取組から目指す一つの例を記載させていただきます。

なお、本日の会議資料として配布した素案には載せられておりませんが、7月下旬に一般社団法人白井市観光交流協会（仮称）の立ち上げが予定されております。

つきましては、今後観光交流協会設立後に想定されるメリットや、観光交流協会と市の取組に関するページを作成する予定です。

ここまでの、全体ビジョンに係る部分の説明になります。

続きまして、第3章農業ビジョンの説明をさせていただきます。

18ページをご覧ください。白井市の農業の全体像については、梨の生産を特徴として挙げながら、後継者問題また耕作放棄地について問題提起しております。

19ページから21ページについては現状をお示しするデータです。こちらの図やグラフにおいても最新のデータや見やすいグラフとし改めてお示しさせていただきます。

22ページについてはこれまでもお示ししました。P E S T分析です。

23、24ページをご覧ください。P E S T分析による変化予想に対し、市内農業従事者へアンケートやインタビューを実施することによって得られた課題を4点挙げております。

25ページをご覧ください。これまで得られた農業関係者からの課題、前回ネットワーク会議で得られた知見、また市役所内関係各課からのヒアリングから農業ビジョンを「持続可能で選ばれる“仕事”としての農業」とし基本方針1 農業の担い手確保 2 農業版企業誘致の促進 3 農作業の省力化及び効率化促進を挙げさせていただきました。

そして、各基本方針に方向性を記載させていただいております。

これらの方向性を基に今後実施計画を考え実行するつくりとなっております。

ここまでの冒頭部分から農業分野までの説明です。全体ビジョンから農業において、この他に取りこぼしている問題やより効果的と考えられる対策案があれば、ご意見を頂ければと思います。

また、ビジョンの方向性について、異論がある点や代替策、追加の案があればご意見をいただきたく思います。

農業分野においての説明は以上です。

○臨時議長（委員）

ありがとうございます。

ただいま事務局から、第1章から第3章までの説明がありました。

本素案は3月17日に御審議いただいた基本方針案に基づいて資料を作成されております。

ここで第1章から第3章まででお気づきの点、また事務局に聞いてみたいことがありますたら、遠慮なく御質問等をお願いしたいと思います。

それでは、●●委員、お願いします。

○委員

8 ページ表の総人口推移のところ、昭和50年から令和17年までとなっていますが、これは西暦ではまずいのでしょうか。

元号が3種類もあると、何年後というのが読みづらいため、自分で計算し直さなければならぬということがあるので、括弧で入れてもらう等、対応していただけるとありがたいと思いました。

もう一点、文字が小さくて、老眼鏡を掛けても見えませんでした。その辺、字体を変えたり太字にする等、見やすくしていただきたく思います。

以上です。

○臨時議長（委員）

ありがとうございます。それでは事務局から、よろしくお願いします。

○事務局

ありがとうございます。

まず、西暦に関しましては、和暦と西暦どちらも載せるような形とさせていただきます。

これは素案全てに対して、そのような形で統一させていただきたいと考えております。

また、グラフや表に関しましては、委員の御指摘のとおり見づらい、分かりづらいものとなっておりますので、図や表に関しましては、全て最新データにアップデートした上で見やすいような形で配慮して、改めてお示ししたいと考えております。

○臨時議長（委員）

●●委員、いかがでしょうか。

○委員

はい、大丈夫です。

○臨時議長（委員）

では事務局は対応のほど、お願いいたします。

●●委員お願いします。

○委員

●●と申します。総人口の推移グラフについて、この折れ線の青が市独自推計値ですよね。

今月の広報を見ましたら、最新4月現在と載っていたのですが、6万1,920人となっています。ですので、本素案のグラフ推計をはるかに下回っているの、計算式でいくと、こうなるかもしれませんが、これを資料として載せていくときに再考していただきたいです。

もう一つ、質問ですが、農業の課題、23ページに、課題の整理の方法でアンケートを実施したという部分で、100件やりました。また、アンケートの結果の深掘りを4件とあり

ますが、その4件がどんなパターンですか、同じ傾向の農業従事者に4件やっても意味がなく、その人の背景を考えたときに、インタビュー調査をしたということですよ。どのような設定をしてインタビューをしたのかというのと、数について4件は少ないかなという気もしないでもないです。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

これについて、事務局のほうから何かございますでしょうか。

○事務局

回答させていただきます。

まず、人口推計につきまして御指摘いただきまして、ありがとうございます。市で出しております人口推計の報告書が、現状、一世代前のものという形で出ておりまして、このビジョンの策定の来年度の段階、今後、素案をつくっていく上で最新版がもう出ているような状況になっておりますので、こちらは差し替えをさせていただきたいと考えております。

続きまして、23ページのアンケート調査と、その深掘りのインタビューについて、今後、農業を拡大していきたい人と縮小していきたい人等、それぞれ違う方向の人にインタビューを実施したものですので、こちらについては、背景の部分に関して、見えるような形で修正した上で、改めてお示ししたいと考えております。

インタビュー数4件という数字につきましては、100件に行いましたアンケートの結果を補強させるといいますか、深掘りを目的として調査させていただきましたので、事務局としては4件、5件あたりが妥当な数字というところで、今回調査をさせていただきました。

○臨時議長（委員）

ありがとうございます。

●●委員、いかがでしょうか。

○委員

アンケートの深掘りをしたのが4%ですよ。

それは統計的にいうと、いかななものかと思うのです。確かにいろいろな背景の方をチョイスする形でやったとは思いますが、現状を把握するときに、専門家ではないので分かりませんが、どうなのでしょう。

○臨時議長（委員）

確かに4%という数字に疑問点がございます。この点について、事務局のほうで何か考えがありますか。

○事務局

本素案にアンケート調査100件と書いてありますが、実際送ったのが100件であって、回

答率が4割程度となっているところになります。

ですので、アンケートに回答いただいた4割の人の中から4人にインタビューをしました。表現については、今後、委託事業者と調整しながら、この書き方を考えさせていただければと思います。御意見ありがとうございます。

○臨時議長（委員）

今、事務局から回答をいただきました。これについて、事務局で考え、訂正していただければと思います。

そのほかにもございますでしょうか。

農業分野の観点から、農業部門の委員から何かありましたらお願いしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

特にはないですか。

第1章から第3章までについて、ここでいったん締めさせていただきますして、続いて工業分野について、事務局から説明をお願いします。

ページ数で言うと、26ページから32ページです。

○事務局

続きまして、第4章工業ビジョンの説明をさせていただきます。

26ページをご覧ください。白井市の工業の全体像についてはご覧の通りとなっております。

27ページから28ページについては現状をお示しするデータになります。こちらの時やグラフにおいても農業分野と同様に最新のデータや見やすいグラフとし改めてお示しさせていただきます。

29ページについてはこれまでもお示ししました。P E S T分析です。

30、31ページをご覧ください。P E S T分析による変化予想に対し、市内工業事業者へアンケートやインタビューを実施することによって得られた課題を3点挙げております。

32ページをご覧ください。これまで得られた工業関係者からの課題、前回ネットワーク会議で得られた知見、また市役所内関係各課からのヒアリング結果から工業ビジョンを「企業が根付き、人が活躍し、挑戦が続く産業拠点」とし基本方針1 事業者の“採用力”の底上げ 2 後継者候補とのマッチング促進 3 産業活動を支えるインフラと制度の総合的な整備 4 工業団地の価値を自発的に発展させ続ける仕組みづくりを挙げさせていただきました。

そして、各基本方針に方向性を記載させていただいております。

これらの方向性を基に今後実施計画を考え実行するつくりとなっております。

ここまでの工業分野までの説明です。工業において、この他に取りこぼしている問題やより効果的と考えられる対策案があれば、ご意見を頂ければと思います。

また、ビジョンの方向性について、異論がある点や代替策、追加の案があればご意見を

いただきたく思います。

工業分野における報告は以上です。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

ただいま事務局から、工業ビジョンについて説明がございました。ここで記載の内容またはそのほか意見等がございましたら、質問をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

では、●●委員をお願いします。

○委員

●●です。いくつか質問があります。27ページ、工業の現状について、事業者数が143事業所というのは、白井工業団地の会員数は、工業団地の中と周辺を合わせると230社ぐらいあるのです。ですから、そのギャップをどう理解すればいいのでしょうか。

それから、ここで付加価値額が出ているのですが、どういう計算方式をされたのかということです。商業のほうを見ると、売上高になっているのです。ですから、統計データとして合わせるとするなら、どちらかに合わせて比較しながら、事業所数だとか従業員数だとか、そのようなデータが必要なのではないかと思っています。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

それでは2点、今、●●委員のほうから、御質問、御指摘のほうがございましたけれども、事務局をお願いします。

○事務局

御質問ありがとうございます。

委員のおっしゃるとおり、事業所数につきましては、たしか工業団地だけでも、会員と非会員足すと300社近い事業所数があります。

○委員

会員外含めると、そうだと思います。

○事務局

この数字は、RE S A Sから引用しているかと思われませんが、データに関しまして、再度確認をさせていただいた上で、最新のデータに更新させていただきたいなと思います。

もう一点、付加価値額と売上高のほうに関しましては、確かに工業と商業で、同じ素案という形で出すものとした場合に分かりづらい部分があるかと思われ、商業と工業で揃える形を変えていきたいなと思いますので、御指摘ありがとうございます。

○委員

付加価値額の計算式を教えてください。

○事務局

こちらに関しましても、事業所数と同じで、R E S A S のデータを引用しています。

○委託事業者

今回のデータなのですが、経済センサスという全国一律で実施している調査の結果に基づいて、事業所数でしたり、付加価値額ですとか売上高というものは抽出させていただくのです。

ただ、御指摘いただいたとおり、白井工業団地の会員数と、この経済センサスの数で出てきている数に乖離があるこの理由ですが、例えば、リサイクル業者ですとか工業分野としてはカウントしていないので、若干ここに数の乖離があるというのはあります。

ただ、最新の情報をもう一度、グラフだったりを差し替えたり、参照いたしますので、その際に数の変更はあるかと思いますが、ここから大幅に二百数十社ですか、恐らくないのだろうなというふうに考えております。

計算式のところなのですが、こちらに関しては、国勢調査、経済センサスのほうを参照しておりますので、そこら辺を取った形で、どういうふうに計算しているのかというところは後ほど追記させていただくようにします。

○委員

もう一点、よろしいですか。

○臨時議長（委員）

●●委員。

○委員

データについて、国のデータを活用するのもいいのですが、白井市の課題を検討しているわけですから、例えば白井市の事業税だとか法人税だとか固定資産税だとか、いずれにしても産業系のところからデータを取ってこないと、相当開きがあるという認識ですよ。

だから、産業統計の中から持ってくると、製造業ということで限られるわけです。

ですから、白井市に準拠したデータをベースにつくらないと、全く違う方向の施策になってしまう気がします。

もう一つ質問があるのですが、30ページのアンケート依頼した800件の回答率は何パーセントだったのでしょうか。

○臨時議長（委員）

事務局、回答をお願いします。

○事務局

まず、先の御指摘の部分、法人税であったり、事業に関する税をもっと白井市のデータ準拠にするという部分に関しましては、現状、出しているデータがございませんので、再度そのあたりは確かめた上で、場合によっては、書きぶりの変更を含めて考えたいなと考

えております。

御質問いただきましたアンケートの回答率ですが、たしか16%ほどの回答率だったかなと記憶しております。

○委員

アンケートは、忙しくて回答できないよみたいな感じのアンケートだったですか。アンケート案が何回か前にあったの会議であったかと思いますが、何問くらいの設計でしたか。

○事務局

質問自体は二十数問だったかと思います。そこまで質問の多いものではなかったかなと記憶はしているのですが。

○委員

何分ぐらいで回答できそうなアンケートだったですか。

○委託事業者

アンケートを設計したので、私から説明させていただきます。

アンケートは、20問ぐらいトータルであるのですが、回答によって、答えていただく質問と、回答が不要な質問に分岐しております。ですので、実質的には10問から15問ぐらいの回答になるという設計になっています。

事前にサンプル的に調査をしたのですが、回答を完了いただくまでに3分から5分程度となっております。

○委員

ありがとうございます。

○委託事業者

もう一点、商工業事業者の16%という回収率のところではなぜ少ないのだろうというふうなところを御懸念されているのかと考えております。

農業従事者のアンケートが4割程度に比べて、こちらは16%にとどまっているところに関しては、理由があります。農業従事者に関しては、一つに白井市民の人が対象になっております。商工業系の事業者に関して言うと、白井に本社がない事業者さんが一定数いらっしゃいますので、こちらに関しては、基本的に本社にアンケートをお送りさせていただいておりますので、それによって回収率が若干下がってしまっているところが一番考えられるところです。

○委員

分かりました。

○臨時議長（委員）

よろしいでしょうか。

○委員

産業振興ビジョンをこれからつくっていかうというときのその元になるいろいろなデータや情報等が、白井市に根づいていないというところにやっぱり問題があるのじゃないかと考えます。これは意見ですから、以上です。

○臨時議長（委員）

今、御指摘等がございました。例えば、アンケートの調査で工業団地協議会にお願いして、回収も含めた形をとっておけば、こういった問題等なかったのかなというところも考えられます。

この調査については、既に実行しているところでございますので、今後、またアンケート調査等があるのであれば、工業団地協会さんに協力を得て、それこそ230社、会員数がいとおっしゃられていましたので、その方たちからは、回収がほぼ可能なのかなというところがございます。そういったことも踏まえて、これから考えていかなければいけないのかなというところでございます。

そのほか何かございますでしょうか。

●●委員お願いします。

○委員

●●です。事業所数ですけど、工業、商業のところで、26ページの工業の全体像として、工業系事業所数は平成5年時点で220か所をピークと。商業のほうはまだ書いていないのですけれども、商業の35ページには、事業所数は平成5年時点の220か所をピークに減少と、これ商業と同じ数字を使っているのですか。

それと、アンケートについて、商工業で800件出したのですね。この事業所数を足しても400。その倍近いアンケートを出しておきながら、ここに出てきている事業所数は、その半分しか入れていないわけです。これの乖離はすごく大きいのではないですか。

先ほど●●委員さんもおっしゃったように、白井市の実情を踏まえたアンケートなり聞き取りなりをもう少し徹底して入れてやるべきではあったのではないかなと思います。800社、実際に出したわけですから、事業所としてはあったわけですね。ところが、このデータの中には、それぞれ220社なのか、二つ合わせて220社なのか分かりませんが、その違いは相当な開きになるのじゃないかなというふうに思います。まず、そこをお聞きしたいと思います。

○臨時議長（委員）

今の御質問について、事務局、何かございますでしょうか。

お願いいたします。

○事務局

●●委員のおっしゃるとおりで、実際の数字より、ここの表現が少なく出てしまっていて、実際アンケートを出すタイミングで分母とした数が2,000近いようなところから引っ張ってきているような形で、そこから800社を抽出して、今回、送付させていただきまし

た。

工業と商業で足して360、70程度しか現状は読み解けないので、このあたりのデータに関しては、再度、委託業者さんと一緒に数字を確認したいと思います。

○臨時議長（委員）

●●委員、よろしくお願いします。

○委員

それは、お任せいたします。

それと、32ページの基本方針のところの基本方針4の2行目の真ん中にあるのですけれども、「市だけでなく、工業団地が独自に財源を確保し」とあるのです。工業団地は民間事業者の集まりですよね。公的な団体でもないし、そこに財源を確保して何をやれというのですか。インフラ整備をやれというのですか。インフラは、これは公共しかできないですよね。道路、下水道、水道。これは、どういう意味で書かれているのですか。

○臨時議長（委員）

これについて事務局、何か答えますでしょうか。

それでは、お願いいたします。

○事務局

今、●●委員がおっしゃったとおり、民間事業者の集まりの工業団地の中で何を独自にというふうに考えられると思います。

確かにインフラ等は公共事業となりますので、市でということは重々承知しております。

ここについては、ほかの課にもヒアリングをした際に、今、工業団地協議会さんとは別のプラットフォームを立ち上げてという話がありました。その話を少し入れたところですが、まだそこもしっかりと決まっているわけではないので、この表現については、もう一回精査させていただいて、独自に財源を確保というところは、検討させていただければと思います。

○臨時議長（委員）

よろしいでしょうか。

○委員

一つだけ付け加えさせてください。●●でございます。

32ページの上の絵なのですけれども、ビジョンと基本方針ということで書かれているのですが、これは、みんな基本方針1、2、3、4が同じウエイトではなくて、白井市の工業の問題で、特に工業団地の問題でもあるのですけれども、いわゆるインフラ、この基本方針の3に書かれている産業活動を支えるインフラと制度の総合的な整備についてです。

いずれにしても、道路、水道等が60年間全く動いていないというところが工業の発展し

ていかない課題の一つです。それが、新規の採用が難しいとか、あと交通の問題、通勤、交通の問題、その三つが基本問題なので、そこが一番クローズアップされたイメージ図であって、そこを解決すると、例えば採用に困られているところの企業さんもそうですし、衰退していくというストーリーも変わってくると考えます。

要は、そういうものが整備されると、工業団地のコストといいますか、例えば地代が、土地の値段が上がっていくわけです。

千葉県の中で二十数工業団地ありますけれど、上水道が通っていないところ、大型車が通れない工業団地、ほかにあるのですか。私は知りません。そういうことを調べて異常なのだというところですよ。

この間、委員長が、工業団地から出ていくという案はないのですかという意見がありました。それも一つの選択肢ですけど、ここを売って新しい工業団地へ行ったら、高いのを買わなければならないのです。

例えば、ここがほかの工業団地と同じような値段であれば、ここを売って、もっと利便のいいところへ行くという選択肢があります。設備は別ですよ、設備投資はまたコストがかかりますけれど、そういう選択肢も可能かもしれませんけれど、ここを売ったら土地が3分の1になってしまいます。それで事業が継続できるのですかという話になってきます。

それだけは、工業の問題というのは、工業団地の中だけの問題かもしれませんけれども、インフラが全く整備されていないところに一番大きな課題があるのだというふうな扱い方をしておいていただかないと、いけないというように思います。

最後に質問しようかと思ったのですけれども、ビジョンつくって産業振興しようというわけですね。ここ抜けているのは、予算は幾らあるのですか。この産業ビジョンを最後、実現するために、最初の全体ビジョンの中で、具体的な施策をつくっていくのが目標ですよとありました。実施計画事業等の具体的な策定にあたり、予算の裏づけが全くない状況で、議論のみをしていて、こうあったらいいね、あああったらいいね、しかし予算ないですというふうになってしまうとまずいので、これからの10年間で、どれだけの予算をかけられるプランなのだというのがすごく大切なのではないかと考えています。その点を後で、これだけの予算がかけられるのだというお話がいただければ大変うれしいなと思っています。

以上です。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

この意見について、何か事務局のほうで今後、予算等々について、後日でも構いませんが、委員の皆さんにお示しができるのかというところもありますけれども、何かこのことについて、御回答ありましたらお願いいたします。

○事務局

今、委員からいただきましたインフラの問題は、長い間、工業団地協議会さんからいろいろと要望があることは、重々承知しているところです。

こちらの基本方針のビジョンの図のほうの1、2、3、4が同じウエイトではないということも重々承知しておりますので、そのこのところの書き方、見え方についてというのは、今すぐどういうふうにということは、お示しはできないのですが、インフラのところ、基本方針3のところをもうちょっと充実させるかどうかというところは、検討させていただければと思います。

また、御指摘のとおり、予算が幾らあるのか、絵に描いた餅ではしょうがないというのは重々承知しておりますが、今、市の全体の総合計画も見直している中で、市の予算が今後どのように推移していくかということも、見えないところです。今ここで予算の裏づけということで示せることは、申し訳ないのですが、できません。それが示されるようなことが分かれば、そのときにお示しできればと思うのですが、大変申し訳ないのですが、10年間でどれだけかけられるのかということ在即答はできませんので、企画財政部局といろいろと協議させていただきながら、またお示ししたいと思います。

以上です。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

●●委員、よろしいでしょうか。

この件について、最終的に総合計画のほうが決定しないと、いろいろと予算立て等々も決まってこないかなという御回答でした。その際には、ぜひ、この審議会でも、その予算等の御報告をしていただきたいと思いますと思っております。

そのほか何かございますでしょうか。

なければ、続いて第5章になります。

第5章の商業分野につきまして、ページ数で言いますと33ページから最終ページです。

情報発信体制までになると思います。事務局のほうから御説明お願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○事務局

続きまして、第5章商業ビジョンから最終ページである情報発信体制まで説明をさせていただきます。

それでは、33ページをご覧ください。白井市の商業の全体像についてはご覧の通りとなっております。

34ページから35ページについては現状をお示しするデータになります。こちらの時やグラフにおいても農業、工業分野と同様に最新のデータや見やすいグラフとし改めてお示しさせていただきます。

36ページについてはこれまでもお示ししました。P E S T分析です。

37、38ページをご覧ください。P E S T分析による変化予想に対し、市内工業事業者へアンケートやインタビューを実施することによって得られた課題を5点挙げております。

39ページをご覧ください。これまで得られた市内商業関係者からの課題、前回ネットワーク会議で得られた知見、また市役所内関係各課からのヒアリング結果から商業ビジョンを「次々と新たな挑戦が生まれ、営みが続き、広がる商業のまち」とし基本方針1 人手確保にかかる事業者のスキル向上 2 市内における新たな販売の場の創出 3 後継者候補とのマッチング促進 4 新規開業の至るまでの切れ目ない支援体制の構築を挙げさせていただきました。

そして、各基本方針に方向性を記載させていただいております。

これらの方向性を基に今後実施計画を考え実行するつくりとなっております。

ここまでが商業分野までの説明です。

商業分野の説明は終了しましたが、次の章の説明を引き続き進めさせていただきます。

40ページをご覧ください。第6章 産業振興ビジョンの推進にあたって 1 関係主体の役割の説明となります。現行ビジョンからの変更として、表の一番上を白井市とさせていただきます。理由としては、市の計画なので市が主体となり各方面に働きかける立場にあると考えられるため、従来が一番下から変更させていただきました。なお、基本的な記載は現行を踏襲しております。

41ページをご覧ください。ビジョンの推進体制を記載しております。

こちらは前回同様に白井市産業振興条例第8条に定める産業振興ネットワーク委員を記載したものになります。

42ページをご覧ください。推進体制図を判りやすく図で示したページになります。

43ページをご覧ください。今回新規に情報発信体制のページを記載させていただきたく考えております。これまでの聞き取りの中から、どれだけ良い内容の補助金や施策があってもその情報が本当に必要な方に届かなければ有用な事業とはいえずらいというご意見を頂きました。

これを受けて、事業者にとって利便性よく補助金等の情報にアクセス出来る取り組みに関するページについて現在検討中です。

こちらのページについては完成次第改めてご確認いただきたいと思います。

第5章商業ビジョン、また第6章 産業振興ビジョンの推進にあたっての部分において、この他に取りこぼしている問題やより効果的と考えられる対策案があれば、ご意見を頂ければと思います。

説明は以上です。

○臨時議長（委員）

ありがとうございます。

第5章と第6章について、御意見、御質問等がございましたら、挙手のほうをお願いしたいと思います。

●●委員、お願いいたします。

○委員

●●です。34ページ、現状ということで、事業所数としてあるのですけれど、小売業と卸売業の2つしかないのです。どこまでの範囲なのか分からないし、例えば工業さんの27ページだと、いろいろ色がついていて細かくあるのですけれど、何で商業二つしかないのかというのがすごく不思議に思います。小売だっていろいろあるじゃないですか。なのに、この2つでくくってしまい、はい、これでおしまいって言われると、この辺どういう感じで、こういう形になっているのかというのを聞きたいです。

以上です。

○臨時議長（委員）

ありがとうございます。

この件について、事務局のほうから何かございますでしょうか。

○事務局

では、回答させていただきます。

委員御指摘のとおりかなと思いますので、もう一度この情報に関しましては、業種だったり、より細かく載せたりするような形で、記載内容自体を改めたいなと思います。

○臨時議長（委員）

ありがとうございます。

本日は、議長の立場ですが、本来、商業の立場で出席しており、その商業ということなので付け加えさせていただきますと、本来は小売と卸のみではない筈です。そのほかにもサービス業等いろいろ、商に分類されるものがあると思います。ですので、表記のほうをもう一度、改めて頂きたいと思っております。

そのほか何かありますでしょうか。

●●委員、お願いします。

○委員

●●でございます。3点でございます。

1点目は大きなところで、検討いただければというところなのですが。全体を見て感じるところが、これを見ていただく方は、白井市の事業者であつたり、白井で事業をしたい人が見ていただくものになるかと思うのですが、白井市の事業をやる上での強みというか、PRの部分が少し弱いかなと思っています。

新しく農業を白井でやりたい人がこれを見て、白井はこんなにすごいところとか、工場を造る人がこれを見て、白井の工業団地、こんないいところなのだとか、新しく食品スーパー造る方が、白井はこんななののだというメッセージがないので、ほかの市町村との差

別化につながりにくいのかなというのは感じました。

例えば、北総地域は地盤が固くて、災害上も強い地域であるとか、このあたり、広報紙見ても、これから白井が伸びていくんだというようなお話がある中で、白井が伸びるようなメッセージが産業振興ビジョンでもあってもいいのかなと感じております。

2点目は、全体を通してなのですけれども、これはグラフです。RESASのグラフをそのまま引っ張ってきているのですが、皆さんの御意見のとおり見づらいと思いますので、しっかりとメッセージ性のあるものを出していただいたほうがいいかなと思っています。

あと、全体的に、初めのところ、1980年代から始まったり、2000年代から始まったりとかまちまちなので、統一感があるほうがよろしいのかなというふうに感じましたので、その点をお願いしたいところです。

あと、各種表現が少し古くなっていないかなというところで、これが発刊されるのが2026年となっています。

例えば、22ページの農業に関するPEST分析で、経済、Economicsのところ、TPP加入によって商圏のグローバル化が促進やTPPに日本が加入したのはいつなのだというところ、また工業の29ページの経済ですけれど、コロナ禍のゼロゼロ融資の返済と書いてあるのですけれど、始まったのが2023年7月ぐらいからとなっていて、それが2026年に合うのかというところ等々、このあたりです。恐らく今、皆さんが議論してきたのが少し前のテーマをもう見ているので、ちょっと今風に変えていく必要があります。

例えば今、大分円安に進んでいますし、海外見ると、トランプ政権発足以降、かなり海外の展開も変わってきている中で、国内における農業従事者さん、製造業の従事者さん、あと商業者さん、大分風向きが変わっているかなと思うので、このあたりは、2026年見据えていくと限定されたほうがいいのかなと感じました。

最後に、文言なのですけれども、38ページの白井市の商業の課題で、③販路の拡大というところで議論がしていくと、最終的に堂々巡りになっている感じがするので、市内での顧客確保に苦戦しています、市内での販売力を向上させる必要がありますというところで、もっとシンプルに落とし込めるのではないかなと思いました。

私のほうからは以上でございます。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

この件について、事務局のほうからお願いしたいと思います。

○事務局

ありがとうございます。

まず1点目、見せ方のメッセージ性の部分につきましては、まさに御指摘のとおりかなと思ひまして、他市町村と比べた際に、どこに強みが白井市にあるのかという部分が、よ

り、強みがもっと分かるような見せ方にしていきたいなというふうに考えますので、このあたりは少し修正を加えていきたいなと考えております。

グラフの統一感につきましては、こちらに関しましても見直しをしていく中で、元のデータ、何年前からの記載という部分に関しまして、ここは委託業者様と相談した上で、それがお示しする上で有用なものとなるような形でしっかり出していきたいなと考えております。

P E S T分析の部分に関しましても、表現の部分で、こちらでも委託業者さんと一緒に一旦見直しまして、アップデートできる部分に関しましては、確かに来年出るようなものになりますので、なるべく新しい形になっていけるものにしたいなと考えております。

商業の課題の⑤の部分、この書きぶりに関しましても、よりスマートな書き方で理解していただけるものになればという形で、こちらでも再度、調整させていただきたいなと思いますので、御意見ありがとうございます。

以上でございます。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

そのほか何かございますでしょうか。

●●委員、お願いいたします。

○委員

ありがとうございます。3つありまして、まず一つ目が全体ビジョンのところですが、恐らく農業から始まっていて、ほかの工業と商業につなげていくみたいな、フェーズ分けしながら全てに値する人材不足、企業誘致みたいなところが共通課題、解決するところみたいにしていくようなところがいいかなと思っています。

先ほどあったような、最終的には6次産業化するというところで、今、農業しか変わっていないので、幾つかに分けながら発展的な事業で、かつ企業もどんどんそこに増やしていくというところをやってそこで得た、いわゆる収入というところを先ほどの各社の課題があったところで、多分インフラコストとか、財源が必要というところに関しては、インフラコストもそこで得たお金を充てていくみたいな形にしていしつつ、短期的には企業版ふるさと納税とか、そういうところでも財源をしっかりと担保ながら、共通課題と個別の課題も解決していかないとうまく回っていかないと思うので、そういうところで共通項と個別で分けるところを分けて、それぞれ中長期でやっていく資金と短期で出て、必要な部分はしっかり財源を持っていくというところをやっていかないと、多分、毎回同じ会話を、先ほどの個別の会話のところをされていくのかなと思うので、あんまりそれだと双方にとってよくないと思います。

あとは、今、国や内閣府から補助金とかも結構出ているので、充てるとこの財源が必要であれば、そういうところも検討していきながら、具体的な、ぜひ次回、計画で言うと、

素案から確定して、アクションプランというところまで、短期的な施策で終わらずに、中長期でも継続的に発展できるような、そういうふうな事業計画書いて、かつやっていくというところをやりながら改善していくというふうな回し方が大事なかなと思うので、そこをぜひ期待しています。

以上です。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

今、御意見を頂戴しましたところ、この件について、事務局のほうで今後、考えていただきたいなと思っております。

あともう一つ、私から言うのもなんですけれども、38ページの開業に当たっての資金不足というところで、④にあるのですけれども、ここでも市のほうで新規開業等々の創業等、いろいろ市とタイアップしてやっているところがございますけれども、やはり開業している人が、資金等がちょっと不足してきたりしておるところです。

商工会に入っていただくと、融資とか、そういった御相談等もしているところなのですが、今後、市のほうでも、新規開業、市内で開業される方に対して、補助金とか、改築費というのですか、そういったことも今後、補助金等で補っていただければ、新規開業する人も中には有用に思う人もいるのではないかなと思っております。

また、空き店舗等も市内でかなり出てきているところです。そこを自己資金等でやるとなると、かなりかかってくるところでございます。少しでも市のほうで、補助金等を申請していただけるような仕組みをとっていただければ、新しく白井で新規開業してみたいという方もいるのではないかなと思っているところでございます。

それに関しましては、商工会に加入とか各商店会、各商店会もかなり会員数が減ってきておりますので、タイアップしながら、巻き込みながら、市の補助金等もちょっと考えていただければかなと思っております。

これは、あくまでも御意見というか、今後こうしていただければ新規開業の方が出店しやすいのじゃないかなという一つの考えでもございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

そのほか何かございますでしょうか。

●●委員、お願いいたします。

○委員

●●でございます。33ページなのですけれども、商業の全体像、ここの書きっぷりなのですけれども、これを読むと、白井の商業は素晴らしい商業で、課題は何もないような書き方になっているのですけれども、国道16号・464号線にそんなに商業施設ありましたでしょうか。

印西のジョイフル本田だとかカインズだとか、直接乗り入れできるからこそ沿道端の

ショッピングセンターになっていますが、白井駅から白井には、464号から入れる商業施設がありますか。飲食店ちょこちょこっと、16号にもちょこちょこっとあるだけで。この書き方は、白井の商業はもう何もやることないような書き方になっているのですけれども、これはちょっと見直したほうがいいのではないですか。ほかはちゃんと課題なり、そういうものが含まれておりますが国道があるけれど、この国道を活用していないというのが白井のまず1点、大きな課題じゃないですか。いろいろなショッピングモールが市内のどこにあるのですか。

白井の課題は、休日の購買力が外へ出ていってしまうというのが大きな課題になっているはずなのです。購買力を外に出さない施策を打とうというのが商業だと思うのですけれども、これだと、そこからいっぱい呼び込んでいるような施設な書き方になっているのですけれども、ちょっと違うのではないかなというふうに思います。これ再考していただきたいと思います。

それと、全体を通してですけれども、3ページ、産業ビジョン策定の目的というところで大きく3つあるのですけれども、SDGsは、今まで説明した中で、どこに書かれているのですか。SDGsを踏まえたビジョンの検討と、産業界であればゼロカーボンだとか、市が宣言しているような取組は全く書かれていないし、燃料高、物価高とそれに対する対応、それと、7項目あるのですけれども、7項目だけなのですか、産業関係で必要なのは。もっとあるような気がするのですけれども、いずれにしてもSDGsを踏まえた検討というのは、この中に1行たりともないように思いました。

これは、ここに掲げられた以上は、ここの部分が相当数入ってこなきゃいけないのかなというふうに思いますので、その辺の御検討、あるいは今まで出た中で追加をしていただくような形が必要かなというふうに思います。

以上です。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

この件につきましても、事務局のほうから何か御意見等がありますでしょうか。

○事務局

ありがとうございます。先に商業の全体像のほうからお話しさせていただきます。

確かに委員の御指摘のとおりで、立ち並んでいますというような書きぶりは、ちょっと良く見せ過ぎていますので現実には即したような形で表現方法を見直して、現実として課題も、商業分野におきましても、あるかなと事務局として考えておりますので、そのあたりを踏まえた形で文言の修正を加えたいなと思っております。

続きまして、3ページのSDGsの部分に関しましては、現状7種類、こちら記載させていただいているのですが、種類につきましては、こちら現行の産業振興ビジョンを踏襲したような形で記載させていただいたものになりますが、現状、これからつくるものがこ

の7種類だけでいいのかということに関しましては、再度確認させていただきたいなと思います。

SDGsを踏まえますというような形で書いてあるのは、確かに御指摘のとおり、この部分のみというような形になっておりますので、各ビジョンに、例えばこの方針が、どれが該当するとか、そういうような少し踏み込んだような形で、ビジョン全体にSDGsというような形で、少し入れ込んだ形で、再度修正した形でお示しできればなと思います。

以上です。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

そのほか何かございますでしょうか。

●●委員、お願いします。

○委員

●●でございます。23ページの農業のところで、一番下のほうの行に、耕作放棄地を抑制する方法と、それから農地転用など耕作放棄地を活用する方法の両面からとあるのですけれども、農地転用をそんなに簡単にできるふうな言い方をしているのですか。

農地法で農地は農地のまま保存、保全、あるいは耕作していくというのが基本で、もしこれが市のほうの方針であれば、農地転用した中で何をしていくのか、多分これ想定しているのはデータセンターだと思うのですけれども、そういう書き方なのでしょうか。

あるいは物流施設を誘致していくために農地転用を図っていくのか、商業施設を誘致するために農地転用を図っていくのか。農業と、ほかの産業との関わり、法的な課題でもあるし、市の取組の課題でもあるので、ここをこんな簡単に書いてしまっているのかなというのが一つ疑問に思っています。

もし書くのであれば、この部分が、商業なり工業のほうの用地の確保という点で、そちらにも記入をしていただくと連携があるのかなというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

○臨時議長（委員）

ありがとうございました。

事務局のほうから何かございますでしょうか。

○事務局

●●委員のおっしゃるとおり、農地転用はそんなに簡単にできないことであるのは重々承知しておりまして、ここはどちらかというと、農業的な企業誘致のほうの意味合いという形で捉えています。

表現が農地転用ではないという形になりますので、そこについては、もうちょっとこちらのほうの書き方は変えさせていただきます。農地転用はもちろん、今おっしゃったとおり、他の産業との確保という意味も今後出てくるところではありますが、どこがというこ

とで、まだしっかりと決まっているわけではないので、農地転用という形ではなく、少し違った形での表現方法で変えさせていただければと思います。

○臨時議長（委員）

●●委員お願いします。

○委員

●●です。今の点は、前に未来創造戦略室のほうから、いわゆる企業誘致をしながら協議会を立ち上げて、企業誘致をしながら進めていくみたいな説明がありました。

今、地図の上、赤丸で囲って、このくらいのところ。その第1号が、白井市役所の裏のところになると思います。

ですから、それと整合性を取るような表現ではいかがですか。一応、未来戦略室のほうから、そういう案で、これは議会承認も取っているわけですね。

○事務局

議会はなく、市の戦略会議のほうでの承認です。

○委員

将来、これが議会への報告9月になっていますので、その辺もあるかなと思います。やはり市としてそういう方向性、データセンター等を誘致したり、物流倉庫を誘致したりしていくのだと、そのことによっていろいろな道路整備だとか環境整備だとか、していこうという方針は、市長として、はっきりしているのではないですか。それが議会に同意されているのであれば、そういう書き方ではどうなのですか。

いずれにしても、耕作放棄地をそのままにしておけば、ここに書かれているように、いわゆる害虫だとか害獣だとか環境がどんどん悪くなって、雑木林になって竹がいっぱい生えてという白井市になってしまうのです。

そうすると、街路樹もものすごく茂ってきて、整備のお金もかかるし、だから、そういう部分では、ビジョンとして出されていることが承認されているのなら、そういう方向で検討と表現されたらいいかなという気がします。

○事務局

●●委員話された未来創造戦略室から出ている案件もございますので、どういう書き方がいいか、調整させていただいて、耕作放棄地を有効活用していくということは、市として変わらないので、考え方や記載の方法は検討させていただければと思います。

○臨時議長（委員）

こういった表現方法等を再度見直していただいて、次回、報告等にしていただければなと思っております。

そのほか何かございますでしょうか。

それでは、ないようなので、これで第1章から第6章までになりますけれど、こちらの第1号議案につきましては以上となります。

続いて、第2号議案の今後の策定スケジュール等について、事務局のほうから御説明をお願いしたいと思います。

○事務局

それでは、資料2の白井市第2次産業振興ビジョン（仮称）改定スケジュールを御覧ください。

第2次産業振興ビジョン（仮称）の改定に向け、本日の会議で素案（案）について御審議をいただきました。今回は、前年からの策定スケジュール、全7回のうちの第4回目になります。

今年度につきましては、基本方針及び素案について十分な審議をするために、会議数を1回増やしたスケジュールとなっておりますので、各委員におかれましては、引き続き日程調整に御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

○臨時議長（委員）

今後のタイムスケジュールについて御説明がございました。

今後、委員会等がございましたら、担当課から連絡があると思いますので、その際はできる限り、皆さん御出席をしていただきたいと思います。よりよい産業ビジョンをつくっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、（3）ということで、議題3になりますけれども、その他について何かございますでしょうか。また、事務局のほうから何かございますでしょうか。

事務局、よろしくお願いいたします。

○事務局

次回の会議日程についてですが、本日、委員長及び副委員長が欠席というような状況となっておりますので、本来、8月の下旬頃から9月にかけてというところで提案する予定でございましたので、こちら改めて書面で各委員のほうに、開催日の案という形で送付させていただきますので、御回答いただければと思います。その中で一番多かったところで開催というような形で、改めて通知をさせていただきたく考えております。

以上です。

○臨時議長（委員）

それでは、今回、急きょ議長となりまして、拙い進行になったかなと思っております。

また、事務局におかれましては、今日、皆さんから頂戴しました貴重な御意見等を反映していただきまして、次回の資料等に反映させていただきたいと思っております。

それで、今回、議事が1号議案から3号議案まで全て終了しまして、皆様の御協力により、慎重審議ありがとうございました。

次回につきましては、先ほど事務局のほうから連絡がありまして、皆さんのところに周知をしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

以上で会議を終わり、議長のほうも席を外させていただきたいと思います。

○事務局

●●委員、ありがとうございました。議長、お疲れさまでした。

また、皆様、本日は御審議いただきありがとうございました。

以上をもちまして令和7年度第1回白井市産業振興ネットワーク会議を閉会させていただきます。お足元、お気をつけてお帰りいただくようお願いいたします。本日はありがとうございました。